



王国に集める者となる 指導者および評議会用

「それらの束は、無駄にならないように倉に納められる
であろう。」アルマ 26 : 5



評議会のメンバーに対して、天の御父の王国に集める者となるとはどういう意味かについて、これから一緒に話し合うことを説明します。わたしたち一人一人は、幕の両側にいる自分の家族を集めるという重要な役割を担っています。そうする中で、各自が救いの計画において、それぞれの役割を果たします。また指導者や教師として、わたしたちはほかの人々も同様にこれらのことが行えるよう助ける必要もあります。ディスカッションを進める際、この概要を活用してください。

評議会のメンバーと集会を開く前に、この概要で使用されるビデオを前もってダウンロードしておくといでしょう。

1. ビデオ

ビデオ「A Sacrifice of Time (時間を捧げる)」を視聴する準備をします。ビデオを視聴しながら、次の質問に対する答えに耳を傾けるよう出席者に言います：ネルソン会長は、わたしたちに何を行うように勧めていますか。

2. ディスカッション

ネルソン会長は、わたしたちに何を行うように勧めていますか。(ネルソン会長は会員に、家族歴史と神殿活動の業を行うために時間という犠牲を捧げるよう勧めています。)

3. ビデオ

ビデオ「Gatherers in the Kingdom (王国に集める者となる)」を視聴する準備をします。ビデオを視聴しながら、次のことについて出席者に深く考えてもらいます：ネルソン会長が「わたしたちは主の聖約の民です。主はわたしたちを頼りにしておられます。」次の短いビデオクリップを視聴しながら、この質問を絶えず心に留めておいてください。七十人のブラッドリー・D・フォスター長老は、ネルソン会長のお話について自身の見解を述べています。

4. ディスカッション

ネルソン会長が次のように述べたとき、その言葉はどのような意味だったのでしょうか。「わたしたちは主の聖約の民です。主はわたしたちを頼りにしておられます。」

聖約の民であるわたしたちの役割について、ビデオの中でフォスター長老が教えている事柄について話し合います。

幕の両側で家族を集める業における、わたしたち個人の役割とは何でしょうか。わたしたち一人一人が個人として行う必要のあることは何ですか。

次のような答えが考えられます：

- 神殿と家族歴史の業を通して、わたしたち一人一人が、すべての神の子供たちのための救いの計画において役割を果たすことができる。
- 教会員として、まずわたしたち自らが行動しなければならない。先祖の名前を見つけ、その名前を神殿に提出してそこで施される儀式を受けられるようにし、ほかの人々にも同じことをするように教える。
- 自分自身の家族を集めて神殿に提出する必要がある。

5. 基本原則

集める活動：家族の責任

下の図について確認します。

- わたしたちと家族は、天の御父の計画において、集める者です。
- 第一の集合場所は家庭です。家族は家庭で学び、家族の思い出を分かち合い、その情報を紙面の家系図やオンラインのファミリーツリーに記録します。テクノロジーが利用できてもできなくても、究極の家族歴史センターは家庭にあります。
- 一旦ファミリーツリーに集められた家族は、その後、神殿の聖約と儀式に安全に集められます。
- 最初の4世代に当たる家族を特定することから始めましょう。

世界中の教会員のうち、ファミリーツリーに両親と祖父母、曾祖父母の名前がすべてそろっているのは、25パーセントにすぎないことを知っていましたか。

また、世界中の最近の改宗者のうち、ファミリーツリーに、同様に4世代の家族の名前がそろっているのはわずか2パーセントであることを知っていましたか。

つまり、教会の家族の最初の4世代に当たる1億人以上の先祖がまだ集められておらず、5億以上の儀式の執行を待っているということです。

神に託された責任を果たすために、わたしたちは迅速に行うようにと勧められている次の二つの事柄についてよく考える必要があります：

1. 新たな改宗者を含め、最初の4世代を記録していない会員は、ファミリーツリーでそれを完成させるよう努め、可能であれば神殿に持参してください。

この評議会の一員であるわたしたちは、この勧めをどのようにして広く行き渡らせることができますか。自分が仕える人々がこの勧めに従うよう助けるにはどうすればよいでしょうか。神殿と家族歴史の業を通して、特に新会員はどのような祝福を受けられると思われませんか。

2. 最初の4世代を完成させた会員は、親類を含め、もっと多くの家族を探し続けてください。

6. ビデオ

ビデオ「We are the Lord's Agents (わたしたちは主の代理人)」を視聴する準備をします。ビデオの視聴しながら、評議会のメンバーに次の質問について深く考えてもらいます：教師および指導者として、わたしたちはどうすれば会員が天の御父の子供たちを安全に集められるように、これまで以上に助けられるでしょうか。

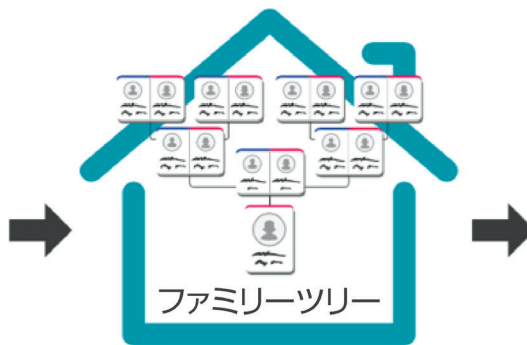
7. ディスカッション

教師および指導者として、わたしたちはどうすれば会員が天の御父の子供たちを安全に集められるように、これまで以上に助けられるでしょうか。

幾世代にもわたる家族



集める者



集められた人々



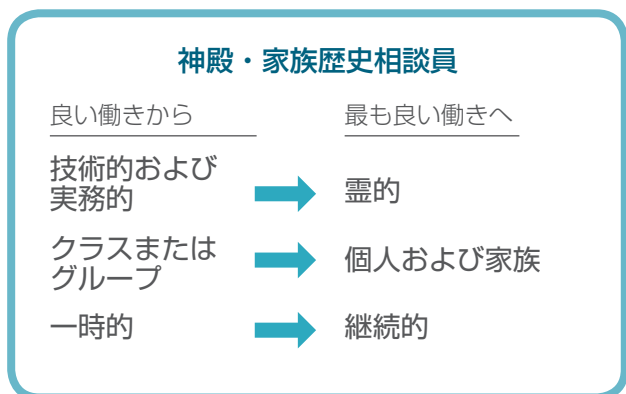
安全に
集められる

皆さんは、クック長老が神殿・家族歴史相談員と言ったことに気づくことでしょうか。

大管長会がこのように名称を変更した理由は何だと思えますか。皆さんにとって、この変更はどのような意味がありますか。

すべての神殿・家族歴史相談員の第一の責任は、ほかの人々が自分の先祖を見つけ、その名前を神殿に提出し、さらにそのほかの人々にも同じことをするように教えるに当たって、御霊に従う方法を学び、神殿に焦点を当てるように助けることです。この務めは、その人の状況に合わせて個人的に行われるべきです。

こうした責任に焦点を当てることで、神殿と家族歴史の取り組みが、単に良い働きから最も良い働きへなることでしょうか。



この勧めを受け入れる人々を待ち受ける祝福には、どのようなものがありますか。

この業は、できるだけ数多くの親族の人々を見つけることではなく、個人を見つけて、その人の業がすべて確実に行われるようにすることである点を強調してください。

8. ビデオ

ビデオ「Promised Blessings of Family History (家族歴史からもたらされる約束された祝福)」を視聴する準備をします。評議会のメンバーにこう尋ねます：これらの祝福のうち、自分自身と自分が仕える人々のために望むのは、どの祝福でしょうか。

9. ディスカッション

これらの祝福のうち、自分自身と自分が仕える人々のために望むのは、どの祝福でしょうか。

神殿と家族歴史の業からもたらされる祝福を受けるために教え、準備させるために、今すぐ何を行いますか。

相談員に、これまで学んだことを生かしてどのように取り組むか、話してもらいます。時間が許す場合は、出席者に、神殿と家族歴史の業に携わることから得た個人的な経験を分かち合ってもらいます。

10. まとめ

レッスンを終える際に、基本原則やディスカッションで印象深かったアイデアについて触れてもよいでしょう。神殿と家族歴史の業が、どのように個人と家族に祝福をもたらすのか証を分かち合います。